

認知症を相談できる病院

■ かかりつけ医

健康に関することを何でも相談できる、身近にいて頼りになる医師のことです。恵那医師会は、認知症に関する所定のコースを修了した医師を恵那医師会認知症相談医として認定し、認知症治療に対応しています。

■ 認知症サポート医

独立行政法人国立長寿医療研究センターが行う認知症サポート医養成研修を修了した医師のことです。認知症診療の普及や、かかりつけ医・物忘れ相談医・専門医との連絡調整、医療と介護の連携などを行います。

- おがわ医院（長島町）小川恵一医師 ☎ 26-5666
- 虹いろ在宅ケアクリニック（大井町）鷺津潤爾医師 ☎ 22-9235
- 市立恵那病院（大井町）細江雅彦医師 ☎ 26-2121
- 河上クリニック（長島町）河上敬医師 ☎ 25-0551

■ 物忘れ外来

気になる症状が認知症などの病気によるものか加齢によるものかを診断。専門的な診察やCTなどの検査を行い、診断結果に合った治療を行います。

- 主な医療機関
- 市立恵那病院（要予約）☎ 20-1657（予約専用電話）※月～金（祝日除く）午後2時～4時半

■ 認知症疾患医療センター

早期診断・早期治療を行い、地域の福祉医療との連携を図るため、県が指定した8病院に設置されています。電話での相談や診断、治療を通じ、かかりつけ医と連携しています。

- 東濃地域の医療機関
- 大湫病院（要予約）☎ 0572-63-2397 ※月～金（祝日除く）午前9時～午後3時

新設 恵南地域包括支援センター

かかりつけ医がない場合、地域包括支援センターでも相談できます。4月1日からは、山岡振興事務所に「恵南地域包括支援センター」を設置します。笠置・中野方・飯地各振興事務所では、巡回型の「笠周高齢者相談窓口」を開設します。ぜひ気軽に利用ください。



認知症かも…？ 早めに気軽に 相談を

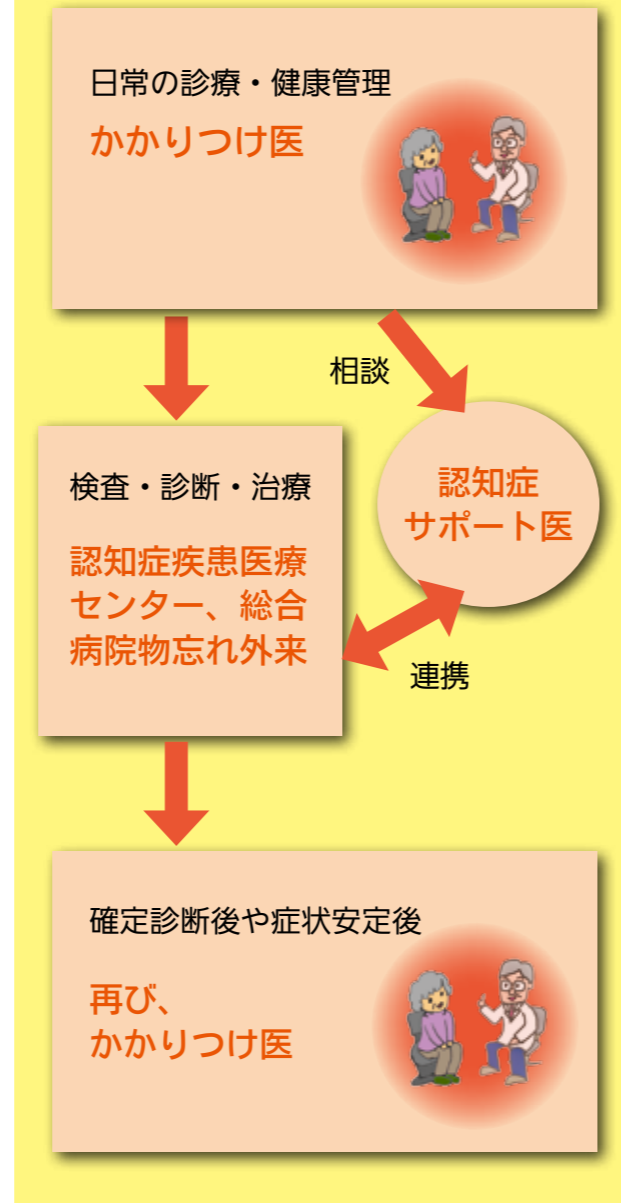
問 地域包括支援センター☎ 26-2111（内線168）、
恵南地域包括支援センター☎ 57-3030 ※4月から

病院にかかる前に普段の様子をメモしておく

認知症かどうかを判断するために、医師は高齢者の日常生活をよく知る家族などに話を聞きます。かかりつけ医が専門外で、他の専門病院を受診することになっても、これまでの治療経過や薬についての紹介状をかかりつけ医に作ってもらう必要があります。

あらかじめ、普段の様子をメモしておき、医師に伝えられるように準備しておきましょう。

相談から受診までの流れ



認知症は他人事ではない

認知症とは、脳や体の病気が原因で記憶や判断力などが衰え、生活に支障が出る状態のことです。一般的に、認知症になる可能性は加齢とともに高くなるといわれています。認知症は、年を取れば誰にでも起こり得る、身近な症状です。

しかし、早めに対処すれば、進行を遅らせることができます。「認知症かも」と思ったなら、家族や周囲の人が気付いて、気軽に相談に行ったり、早めに受診したりすることが大切です。

まずはかかりつけ医に相談を

認知症サポート医
市立恵那病院
細江 雅彦 医師



かかりつけ医は、普段からあなたの健康状態などをよく把握している身近な存在です。「認知症かも」と不安になったら、まずはかかりつけ医を受診してください。心配している症状が、加齢によるものだと分かれば、安心できることもあります。認知症の疑いがあれば、専門医を紹介します。自分だけで思い悩まず、ご家族と一緒に受診して相談してみてください。

恵那市民の34%が高齢者

令和2年1月末現在、市の人口は4万9千799人です。そのうち、65歳以上の人口は1万7千125人。私たちは、高齢化率34.38%という、超高齢社会の中で暮らしています。

高齢者の人口が増える中、認知症に関する相談の件数も年々増えています。昨年度、地域包括支援センターに寄せられた2千803件の相談のうち、認知症に関する医療機関やサービス利用についての相談は452件ありました。

認知症の症状は人によってさまざま

中核症状
脳の細胞が壊れることにより直接起こる症状。記憶や判断力、時間・場所の認知機能が損なわれます。

行動心理症状
中核症状を基に、その人の性格や生活環境などさまざまな要因が関係して引き起こされる症状。例として、物盗られ妄想や排せつの混乱、攻撃的な言動などが挙げられます。周りの環境や接し方を変えることで症状が改善する場合もあります。

物忘れと認知症は別物です

加齢による物忘れ

物事の一部を忘れてしまう

何を食べたか思い出せない
約束をすっかり忘れるなど

認知症

物事が起こったこと自体を忘れる

食べたこと自体や約束したこと自体を忘れるなど